

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	在宅ねたきり高齢者おむつ貸与・支給事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書 (ページ)	51	

予算名	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業	4	高齢者日常生活支援事業
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	---	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・市内に住所を有する65歳以上の在宅ねたきり高齢者であり、失禁状態である者 ・上記のほか、市長が必要と認めた者	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) →市内65歳以上の高齢者数(平成30年4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①介護者の負担を軽減し、在宅生活を維持、継続している ②衛生状態が向上している	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) →支給者数
	③ そのために何をしましたか。 在宅の寝たきり高齢者におむつの貸与及び支給を行った。 支給の流れについては、まず、担当区域の高齢者ほっと支援センターの職員が自宅に訪問して身体状況を確認。同センターによる申請代行を受けて、市が貸与・支給を決定する。そして、委託業者が毎月1回、対象者宅を訪問し、おむつを配達する。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) →支給者数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	21,957	22,350	22,711		
	成果指標	②の数値	人	190	178	176		
	目 標	②の目標値				178	176	176
		目標値設定の考え方	高齢者世帯への日常(在宅)生活の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。					
活動指標	③の数値	人	190	178	176			

3 経費	事業費(実績)		円	6,937,343	6,336,485	5,773,740	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	6,937,343	6,336,485	5,773,740	
		特定財源	円				
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	1,653,400	1,650,600	1,648,800		
職員人件費(再任用)		円	0	0			
事業費+人件費		円	8,590,743	7,987,085	7,422,540		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 昭和60年5月開始。当時、高齢者人口の増加に伴い、在宅介護サービスの拡充が求められていたことを背景に開始された。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 高齢化の進行に伴い、開始当初と比べて、利用者数は増加した。

仕 事 の 内 容	在宅ねたぎり高齢者おむつ貸与・支給事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	おむつの支給内容の見直しを求める声があった。					
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	特に無し					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	おむつの支給内容の見直しをおこなった。					
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	特に無し					
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」)の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など)					
	現状維持が妥当					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
成 果	特に無し					
	(3)改革・改善案による期待成果					
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成 果	成果を維持する。				経 費	仕事の経費は維持する。